

令和7年度 青森県立八戸西高等学校 スポーツ科学科3学年

特別授業「八戸高等支援学校と八戸西高等学校のスポーツ交流会」

実施年月日: 令和7年6月17日(火)

実施場所: 青森県立八戸高等支援学校

概要: 特別支援学校との交流を通じて、障がいのある生徒と本校スポーツ科学科の生徒が相互に理解を深め合い、スポーツを通じたノーマライゼーションの実現を目指す特別授業を実施。



スポーツ科学科生徒の感想

澤田 龍成(根城中学校出身・陸上競技部)

今回私は高等支援学校と交流をしました。この交流を通して自分たちとは違う環境の生徒と関わることができました。高等支援学校の生徒はとても明るく困難なことにも堂々と挑戦する姿が見え、私たちも見習わなければならないところがあると感じました。私たちはバレー、バスケ、キックベースを指導し、ポッチャやフライングディスクを指導してもらいました。初めてやるフライングディスクはとても難しかったです。難しさの中に楽しみがあり、得点を決めた時は敵味方関係なく喜び合うことができとても楽しかったです。

木村 優真(明治中学校出身・ラグビー部)

私は今回の高等支援学校との交流を通して沢山の新しい気づきを得ることができました。私はバレーを指導し、ポッチャを体験しました。バレーを指導した時は私達と差がないほどうまく試合をした時は私たちが負けるほどとても上手でした。ポッチャを体験した時は高等支援学校の生徒に指導してもらいとても楽しむことができました。競技を通して自然と会話が生まれ、笑顔も増えていきました。お互いに協力し合いながらプレーすることで、思いやりやコミュニケーションの大切さを実感しました。スポーツを通じて心がつながる素晴らしさを改めて感じた、心に残る交流となりました。